

伊勢半本店×若手作家 コラボレーション企画 第5回
中島ゆり恵 「未来の匠ーきらめく彫金ー」
会期 2021年4月17日(土) ~ 5月22日(土)

伊勢半本店は、「中島ゆり恵『未来の匠ーきらめく彫金ー』」を、2021年4月17日(土)より5月22日(土)まで、紅ミュージアムにて開催いたします。

江戸時代の紅づくりの技を受け継ぐ伊勢半本店が、工芸の世界で伝統の技を継承し日々研鑽を重ねる若手作家を応援したい思いから生まれた作品展「未来の匠」は、5回目の開催となります。

今回、金工作家の中島ゆり恵氏に、四季折々の日本の草花をテーマとした小町紅の紅板※18点を制作いただきました。光のきらめきや風の流れ、水面のゆらぎなど自然から着想した優美な作品群も併せて展示、販売します。伝統の技と瑞々しい感性のコラボレーションをぜひご堪能ください。

※ 紅板とは江戸時代に使われていた携帯用紅入れのことです



(小町紅の紅板作品)

中島ゆり恵 「未来の匠ーきらめく彫金ー」

会 期：2021年4月17日（土）～ 5月22日（土）

会 場：紅ミュージアム（東京都港区南青山6-6-20 K's 南青山ビル1階）

開館時間：10：00～17：00（入館は閉館の30分前まで）

休 館 日：毎週日・月曜日

観 覧 料：無料

主 催：株式会社 伊勢半本店

交通案内：〈地下鉄〉東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道」駅下車

B1出口より徒歩約12分/B3出口（エスカレーター・エレベーターあり）より徒歩約13分

〈バ ス〉渋谷駅東口バスターミナルより

都01（新橋駅前行）、RH01（六本木ヒルズ行）「南青山七丁目」下車

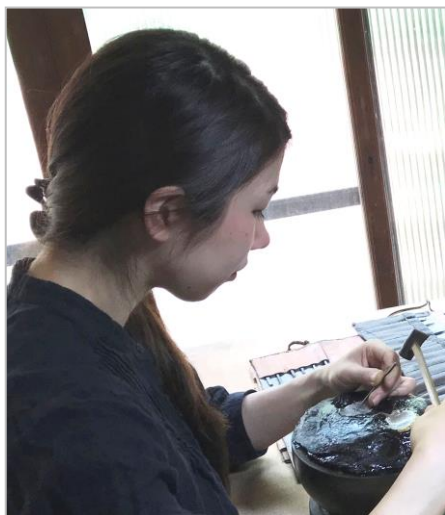
電 話：03-5467-3735

WEBサイト：<https://www.isehanhonten.co.jp/museum/>

今後も感染症拡大状況、政府や東京都の勧告を踏まえ、会期・開館時間の変更、入場制限等を行う場合がございます。弊社WEBサイトで最新情報をご確認の上、ご来場ください。

【作家プロフィール】

中島 ゆり恵 / Nakashima Yurie



大分県生まれ

京都伝統工芸大学卒業

金沢卯辰山工芸工房修了

月浦工房を拠点に制作活動を行なっている。

金沢市民芸術村職人大学にて加賀象嵌・彫金専門塾 講師。

〈個展〉

2018年「光の庭」（山ノ上ギャラリー / 金沢）

〈パブリックアート〉

2020年 フォーシーズンズホテル東京大手町

自然の中できらめく光や

そこから生まれる心象をテーマに
制作しています。

主に

彫金や象嵌などの伝統技法を用いて
かたちにしています。



彫金香合 星霜



菓子切り 季の風ー春・夏・秋・冬ー

【コラボレーション小町紅のご紹介】小町紅は2021年4月17日より展示・販売致します。



可憐な美

凛とした美

小町紅は、紅花の花びらに含まれる赤色色素だけで作られた口紅です。江戸時代、紅を携行するための化粧道具・紅板は、象牙や金属、漆器、紙製などに加飾し、趣向を凝らして詠えられました。その紅板が、中島氏の確かな技と感性のきらめきで、今の私たちの心に響く逸品となりました。



きらめく繊細な彫金



蝶番に施された
細かな技

〈ここ見て ポイント1〉

四季折々の日本の草花をテーマとして、凛とした女性の美しさや可憐さを表現した18点です。紅板には、桜や藤、紫陽花、木蓮、紅花、梅など9種の草花を、正方形タイプと長方形タイプのコンパクトケースにデザインしています。

〈ここ見て ポイント2〉

モチーフは、本象嵌^{そうがん}、切り嵌め^は、接ぎ合わせ^はといった様々な彫金の伝統的な技法を組み合わせで表現しています。

〈ここ見て ポイント3〉

胎には、銀食器に用いられる洋銀を使用して、一枚板から一つひとつ成形しています。また、鏡の縁取りや蝶番の飾りにも趣向を凝らし、繊細に彫金しています。

販売価格：8万円～（予定）／リフィルを含む

成分：ベニバナ赤、口紅としての使用目安20回程度

サイズ：正方形タイプ／約L40×W40×H13mm

長方形タイプ／約L50×W30×H12mm

素材：紅板共通／洋銀（洋白・銀メッキ）、フッ素コーティング、ウレタンクリアコーティング、ステンレス、鏡、磁石
装飾部分／デザインによって異なる。純銀、silver950、k18、四分一（銀と銅の合金）、真鍮、銅、錫を使用。
リフィル／アルミ、漆

今回の小町紅の作品は、一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン (CoJ) が行う「企業」と「つくり手」を繋ぐプロジェクト「つくるフォーラム」をご縁に制作されました。

【作品販売】

期間中、中島氏の瑞々しい感性と確かな技術で制作された立体作品、ピアスなどの身につけて嬉しくなるようなアクセサリーや小さな飾り箱、菓子切り楊枝などを販売します。

水面の輝きや星の瞬き、しずくがきらめく草花などの自然に触れた心象風景を、光沢のあるしなやかな金属素材を用いて表現しています。そっと彩りを添えてくれる優美な作品を暮らしの中に取り入れてみてはいかがでしょうか。



接合象嵌花器 水明

【併催講座】

「銀象嵌体験 ブローチ/ストラップ作り」

彫りの入った真鍮板に、銀線をたたいて象嵌^{そうがん}し、ブローチまたはストラップを制作します。
金属工芸の「象嵌」を、初心者向けの比較的簡単な工程で楽しみながら体験していただける講座です。
※ 象嵌とは、素材に異素材を嵌め込んで模様を描く工芸の装飾技法のことを言います

講師：中島ゆり恵氏（金作家）

日時：2021年4月29日（木・祝）①10:30～11:30 ②13:30～14:30 ③15:30～16:30

会場：紅ミュージアム 2階会議室

定員：各回3名（要予約・先着順、参加者が小学生以下の場合は、保護者がご同伴ください。）

参加費：2,000円（材料費込み）

【2021年4月1日（木）10:00 申込み受付開始】

申込み方法：電話（03-5467-3735）、伊勢半本店 web サイトお問い合わせフォームより

【紅ミュージアム】

「紅」と「化粧」2つの視点から歴史と文化をたどる
「紅ミュージアム」は、文政八年(1825)の創業より、秘伝とされた紅の製法を受け継ぎ、日本で唯一今も変わらず作り続ける紅屋・伊勢半本店の運営する資料館です。ここでは、紅づくりの技と文化や日本の化粧の歩みを、多くの実物資料からご覧になれるほか、小町紅のお試しづけや紅花の色素抽出ミニ実験といった体験コンテンツもご用意しています。



東京都が進める「江戸東京きらりプロジェクト」は、江戸東京の伝統ある技や老舗の産品等を新たな視点で磨きをかけ、その価値と魅力を国内外に発信することで、東京ブランドの確立やものづくりの本場・東京の再興、伝統ある産業の魅力向上、技の継承を目指す取り組みです。伊勢半本店は、2018年度からモデル事業者に選定されています。 <https://edotokyokirari.jp/>

■この件に関するお問い合わせ先

株式会社伊勢半本店 PR担当 阿部 tel 03-5774-0294 fax 03-3406-0795
e-mail abe_em@isehan.co.jp

大島 PR 株式会社 大島 tel 03-3545-1185 fax 03-3545-1186
e-mail oshima@oshima-pr-a.com

■お客様お問い合わせ先 伊勢半本店 本紅事業部（平日：10:00～17:00）

〒107-0062 東京都港区南青山6-6-20 K's 南青山ビル2F tel 03-5774-0296